

令和3年度 印西市民アカデミーだより 第12号

印西の歴史散策11（印旛 / 山田）

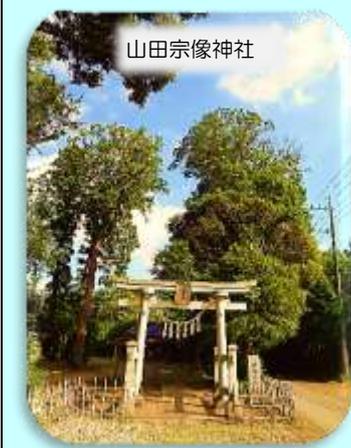
10月15日(金)、今回から4回続けて旧印旛村を散策します。初回は、山田地区です。コースは、印旛公民館→山田橋→山田宗像神社→円蔵寺→円天寺→(市井橋)→印旛公民館(約5km)です。先週から市井橋が工事のため通行止めとなり、橋の中央からの北印旛沼の景色を見ることができず残念でした。



昭和42年に陸地掘削してつくられた北印旛沼と西印旛沼を結ぶ印旛捷水路。この捷水路に沿ってサイクリング道路が整備されています。



曹洞宗霊岩山円蔵寺の山門前には、仁王像と狛犬が置かれています。敷地内には、印旛七福神の布袋尊が置かれています。



景行天皇四十一年(111年)倭武命東征のおり、仮宮を造営して筑紫宗像神社を奉斎し鎮撫祈願したといういわれのある神社。敷地内には、香取神宮や大杉神社、三峯神社、子安大明神も祀られているほか、田や畑を奉納した記念碑も建てられています。



印西市内で唯一の浄土宗の寺院である龍雲山円天寺。山門をくぐった左手には、「普門品拾萬巻供養塔」と「普門品壺萬巻供養塔」が建てられています。



印旛捷水路の開削中に市井橋の北側100m、地表下23mの砂の層から約3万年前のナウマン象の化石が発見されました。同形の模型が房総風土記の丘資料館に展示され、発掘場所には銘板があります。

